

拠出金名：国際獣疫事務局拠出金

国際機関等名	国際獣疫事務局 (英文名称・略称) The World Organisation for Animal Health (OIE)				
種 別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	農林水産省大臣官房国際部国際協力課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千ユーロ)	レ ー ト	ODA率(%)
平成21年度	163,181	1,388	141	1米ドル = 103円 1ユーロ = 143円	78.2
平成20年度	170,026	1,309	135	1米ドル = 113円 1ユーロ = 164円	78.5
平成19年度	630,179	5,262	135	1米ドル = 116円 1ユーロ = 147円	94.0
当該拠出金の目的・用途等	動物衛生の防疫に関する国際会議及び国際会議及び研修実施、専門家派遣				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2009年度のもの)				国際機関等の財政 (2009年度決算) ^(注2)	
	国 名	金額 (千ドル)	拠出率 (%)	当該年度の収入	1,903,934米ドル
1位	日本 ^(注1)	1,584	100.0	当該年度の支出	1,999,985米ドル
2位				次年度への繰越	-96,052米ドル
3位				会計検査機関名	
4位				Marie-Pierre Codier	
5位					
当該機関等に対する我が国としての評価 (合理化、機能強化のための改革が行われているか、当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
<p>OIEは、動物の伝染性疾病及びその防疫に関する唯一の国際機関として、各国の疾病発生情報の収集及び提供、動物衛生に関する国際基準の策定、新しい診断法の国際標準化などについて活発に活動しており、我が国の動物検疫及び家畜防疫の諸施策を実施するための科学的・技術的バックボーンとして大きく貢献している。また、WTO体制の下で家畜衛生の国際基準を策定する機関として明確に位置付けられており、加盟国はその国際基準を基本とした措置が求められている。OIEの活動は5年ごとに戦略計画を定めて活動しており、第78会総会にて2011～2015年における第5次戦略計画が決定され、更なる活動が強化されることになった。このような中で、我が国の農林水産省動物衛生課長は昨年に引き続きアジア極東及びオセアニア地域委員会議長の職務を遂行しており、我が国はOIEの活動に大きな影響力を有している。</p>					
邦人職員数 うち幹部以上 ^(注3)	7 人 うち 4 人	当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率 ^(注3)	122人 5.7%		
邦人職員が占めている幹部ポスト ^(注3)					
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考	
国際獣疫事務局次長		宮城島 一明			
国際獣疫事務局国際貿易部部长代理		安宅 倭		農林水産省出向	
国際獣疫事務局国際貿易部特別補佐		沖田 賢治		農林水産省出向	
国際獣疫事務局アジア・太平洋地域代表事務所代表		下平 乙夫		農林水産省出向	
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
<p>OIE本部への派遣については、国際的な家畜衛生に関する情報の迅速な収集、我が国をはじめとするアジア地域の意見をOIE活動への反映、我が国の国際貢献の効果的な推進等、OIEアジア太平洋地域事務所への派遣については、同地域における鳥インフルエンザや口蹄疫等の防疫、域内での情報交換、BSEのリスク管理及び家畜衛生の向上等を牽引し、ひいては我が国への家畜疾病の侵入防止につながる。今後とも、邦人職員の派遣を継続する予定である。</p>					

(注1) 我が国からの拠出金は、他国の拠出金とは別の基金(日本信託基金)として管理される。

(注2) 日本信託基金のみ。

(注3) 2010年11月現在。